

Top Message	環境本部長インタビュー	特集 Human Centric Intelligent Society	第7期富士通グループ環境行動計画	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
環境会計／環境債務	事業活動における環境負荷	GHGプロトコルスタンダードに基づく温室効果ガス排出量の報告	補足データ	環境パフォーマンスデータ算定基準	環境活動に関する報告対象組織の一覧表	第三者審査	GRIガイドライン対照表

第三者審査

「富士通グループ環境報告書2015」および「富士通グループCSR報告書2015」は、開示内容の信頼性確保のため第三者機関ビューロー・ベリタスジャパン株式会社による審査を受け、検証報告書を掲載しています。

温室効果ガス排出量検証報告書

富士通株式会社 御中

BUREAU
VERITAS

2015年6月30日

ビューロー・ベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部

ビューロー・ベリタスジャパン(以下、ビューロー・ベリタス)は、富士通グループ環境報告書 2015 において富士通株式会社(以下、富士通)により報告される 2014 年度の温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証範囲

富士通はビューロー・ベリタスに対し、以下の温室効果ガス排出量情報の正確性について検証し限定的保証を行うことを依頼した。

1) スコープ 1 及びスコープ 2 温室効果ガス排出量

- ・富士通及び国内グループ会社 27 社、海外グループ会社 3 社の事業活動に伴う、2014 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日の期間におけるエネルギー起源 CO₂ 排出量
- ・半導体製造を行う富士通グループ国内 4 拠点の事業活動に伴う、2014 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日の期間における HFC、PFC、SF₆、NF₃ 排出量

2) スコープ 3 カテゴリー 4 温室効果ガス排出量 (GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope 3) Accounting and Reporting Standard に基づく)

- ・富士通及び国内グループ会社 25 社が外部に委託した物流に伴う、2014 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日の期間の CO₂ 排出量

2. 検証方法

ビューロー・ベリタスは、ISO 14064-3(2006): Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions の要求事項に従って検証を行った。

ビューロー・ベリタスは、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し算定する責任のある富士通の関係者へのインタビュー
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に対する、富士通の情報システムと収集・集計・分析方法の確認
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための元データのサンプル監査

3. 結論

実施した検証作業とプロセスによれば、温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は認められなかった。

- ・著しく正確性を欠き、対象範囲における温室効果ガス排出量データを適切に表していない
- ・富士通が定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない

検証された温室効果ガス排出量		
スコープ 1 197,000 t-CO ₂ e	スコープ 2 700,000 t-CO ₂ e	スコープ 3 (カテゴリー4) 48,000 t-CO ₂ e

【独立性、公平性及び力量の声明】

ビューロー・ベリタスは、独立保証業務の提供に180年の歴史を持つ、品質・健康・安全・社会・環境管理に特化した独立の専門サービス会社です。検証チームメンバーは、当該任務の要求範囲外において、富士通とのビジネス上の関係は有していません。ビューロー・ベリタスは、日常業務活動におけるスタッフの高い倫理基準を維持するため、倫理規定を導入しています。検証チームは、環境・社会・健康・安全の情報の「システム・プロセス」に対する検証について広範囲な経験を有しています。

Top Message	環境本部長インタビュー	特集 Human Centric Intelligent Society	第7期富士通グループ環境行動計画	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
環境会計／環境債務	事業活動における環境負荷	GHGプロトコルスタンダードに基づく温室効果ガス排出量の報告	補足データ	環境パフォーマンスデータ算定基準	環境活動に関する報告対象組織の一覧表	第三者審査	GRIガイドライン対照表

別紙 1

対象とした社会パフォーマンス指標の一覧

検証対象指標	ページ
女性リーダー育成プログラム受講者数	13
女性向けキャリア形成支援セミナー実施回数	13
女性幹部社員比率	13・45・65
障がい者雇用率	13・46・65
制度利用者数	13・54・66
グローバルなビジネスリーダーの育成	
次世代ビジネスリーダー育成プログラム受講者数	14
近隣住民との定期的なダイアログ実施状況(回数)の実績	14
地域社会貢献活動に関する社内データベース登録件数	15
ISO26000を活用したCSR活動	
ISO アンケート対象範囲(グループ会社数等の数値)の実績	18
取締役数	25・99
度数率(災害発生率)	57・66
従業員数、平均年齢	65・101
新卒採用者数	65
地域別従業員数	65・100
平均勤続年数	65
お取引先とともに「CSR 調達の推進」(書面調査社数)	81

別紙 2

対象とした環境パフォーマンス指標の一覧

検証対象指標	ページ
新製品のなかでエネルギー効率トップレベルである製品が占める割合	22
新製品の資源効率の向上率	24
事業所における温室効果ガス(CO ₂ ・CO ₂ 以外)の排出量	31
事業所におけるエネルギー消費原単位の改善率	31
輸送 CO ₂ 排出量 ※富士通(株)および国内グループ会社	35
水使用量	39
PRTR および VOC の排出量	40
廃棄物発生量	41
廃棄物有効利用率	41
事業系使用済み ICT 製品の資源再利用率	43
INPUT(設計・調達・製造・開発)	水
	エネルギー
INPUT(再資源化)	資源再利用率
	化学物質
OUTPUT(設計・調達・製造・開発)	大気排出 温室効果ガス合計
	大気排出 CO ₂
	大気排出 CO ₂ 以外の温室効果ガス
	廃棄物発生量
	サーマルリサイクル量、マテリアルリサイクル量
	廃棄物処理量
OUTPUT(物流) 大気排出 CO ₂ ※富士通(株)および国内グループ会社	
Scope3(上流) 輸送・配送 ※富士通(株)および国内グループ会社	
Scope1(自社) 直接排出	55
Scope2(自社) エネルギー起源の間接排出	
Scope1 および Scope2 のエネルギー使用量	56

レビュー対象指標	ページ
ICT の提供による温室効果ガス(GHG)排出量の削減貢献量	19
輸送における売上高あたりの CO ₂ 排出量の削減率	35
輸送 CO ₂ 排出量 ※海外グループ会社	
環境会計	53
INPUT(設計・調達・製造・開発)	化学物質
INPUT(物流) エネルギー	
OUTPUT(物流) 大気排出 CO ₂ ※海外グループ会社	54
Scope3(上流) 輸送・配送 ※海外グループ会社	
Scope3(上流) 購入した製品・サービス	
Scope3(下流) 販売した製品の使用	55